

循環器内科

(2024 年 3 月在職者名)

循環器内科部長	塩見 哲也
---------	-------

循環器診断部長 生理検査室室長	船越 祐子
--------------------	-------

教育部長・ 救急センター部長	臼井 真
-------------------	------

循環器内科医師	田中 俊江、酒見 拓矢、本田 修浩、田中 雄大
---------	-------------------------

▶ 活動内容

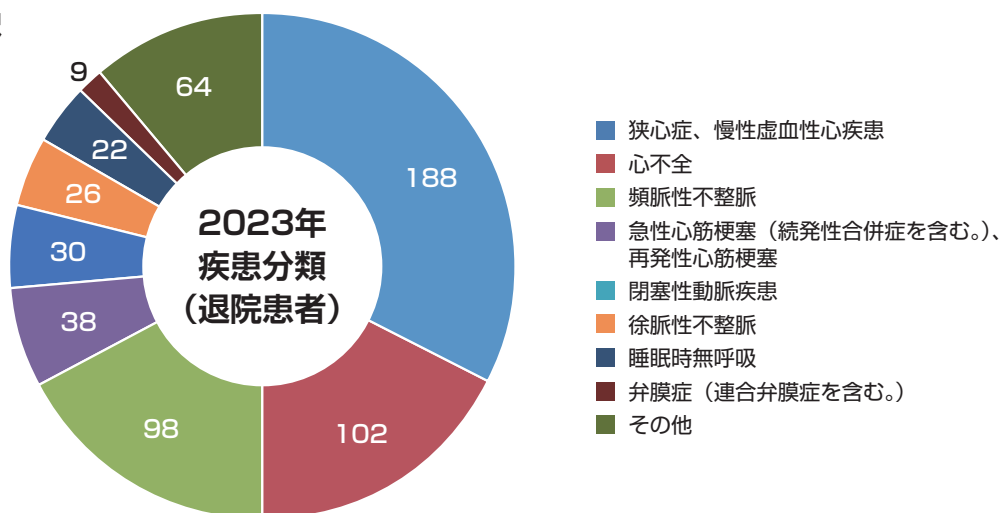
外来では月曜から金曜の午前中、急患や紹介患者は随時診療している。検査としては、心電図（運動負荷心電図、ホルター心電図、長時間ホルターを含む）、心臓超音波検査（経食道心エコー、血管エコーも含む）、心筋シンチ、冠動脈 CT、心臓 MRI、ABI、簡易型睡眠時無呼吸検査などを行っている。症例に応じて、心臓リハビリや電氣的除細動も外来レベルで施行している。

入院診療は 8CD 病棟（重症症例は ICU や HCU などの集中治療室）で行っており、心不全の薬物療法や心臓リハビリのほか、心臓カテーテル検査、冠動脈インターベンション、末梢血管インターベンション、電気生理学的検査、カテーテルアブレーション、ペースメーカー植込み術、睡眠ポリグラフ検査などを行っている。

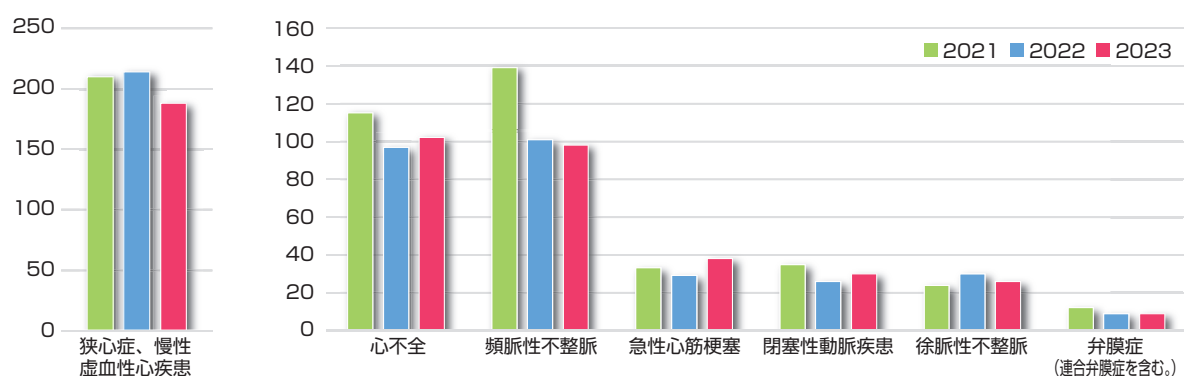
診療する疾患は虚血性心臓病（狭心症、心筋梗塞）、心不全、不整脈をはじめ、閉塞性動脈硬化症、心臓弁膜症、動脈瘤、肺高血圧症、感染性心内膜炎、先天性心臓病、失神、深部静脈血栓症、睡眠時無呼吸症候群、高血圧、脂質異常症など多岐にわたり、循環器内科専門医がガイドラインに基づき診療を行っている。

検査入院の場合は在院日数の短縮や週末の入退院など需要に応えるようにできるだけ配慮している。また救急部や心カテのメディカルスタッフとも連携し 24 時間態勢で急患に対応、必要に応じて緊急心臓カテーテル検査、緊急冠動脈インターベンションなども施行している。

▶ 入院患者 内訳



▶ 疾患別入院患者 年次推移



▶ 外来患者数

	2021	2022	2023
新 患	529	444	436
再 来	8,096	7,509	7,397
計	8,397	8,625	7,953

▶ 入院患者数

	2021	2022	2023
入 院	622	593	545
延べ患者数	6,216	5,881	5,478
平均在院日数	8.2	8.6	8.3

▶ 心臓カテーテル施行件数

	心カテ総数	緊急カテ総数	冠動脈インターベンション	カテーテルアブレーション	永久ペースメーカー植込術（新規）	永久ペースメーカー植込術（交換）	末梢血管治療
2019	719	95	225	76	35	8	33
2020	613	85	180	115	36	4	26
2021	633	73	170	135	14	6	41
2022	587	62	177	100	15	17	28
2023	669	64	163	92	14	10	40

▶ 入院患者年齢構成

年齢	2021	2022	2023
10歳未満	0	0	0
10代	0	1	0
20代	3	0	0
30代	10	6	6
40代	50	27	28
50代	60	61	51
60代	125	120	93
70代	217	187	175
80代	119	146	157
90以上	38	45	35
計	622	593	545

▶ 地域別紹介患者数

		2021	2022	2023	平均
福岡市	中央区	312	410	306	343
	西区	112	79	91	94
	東区	71	84	86	80
	早良区	81	77	77	78
	城南区	57	25	64	49
	博多区	63	50	49	54
	南区	32	30	31	31
福岡市計		728	755	704	729
糸島市		82	40	68	63
糟屋郡		57	26	34	39
県外		19	18	22	20
春日市		5	8	13	9
太宰府市		8	1	10	6
那珂川市		2	0	6	3
大野城市		6	3	4	4
宗像市		2	1	3	2
北九州市		3	4	3	3
嘉穂郡		0	0	2	1
その他		25	14	6	15
総合計		937	870	875	894

▶ 2023 年 学会発表

著者名	共著者名	演 題	雑 誌 名	年	巻号	ページ
首藤史帆	萬納寺洋士 田中雄大 酒見拓矢 田中俊江 船越祐子 塩見哲也 臼井 真	コントロール困難な右心不全に対しアブレーションが奏功した上室性頻拍の1例	第340回日本内科学会九州地方会	2023	01/21	福岡県
田中俊江		運動のすすめ	アラカンフェスタ	2023	02/23	福岡県
田中俊江		The lower the better? CV risk management in the elderly	ESC Preventive Cardiology 2023	2023	4/13-4/15	スペイン
鹿島滉太	酒見拓矢 臼井 真 塩見哲也 船越祐子 田中俊江 萬納寺洋士 田中雄大	急激な転帰をたどった真菌性劇症型心筋炎の一例	第134回日本循環器学会九州地方会	2023	06/24	熊本県
本田修浩		A Case of Coexistence an Ectopic Rhythm and an Atrial Fibrillation Trigger Arising within Superior Vena Cava	第69回日本不整脈心電学会学術大会	2023	07/07	北海道
田中俊江	萩尾智子 田中雄大 酒見拓矢 本田修浩 塩見哲也 船越祐子 臼井 真	超高齢者の心血管疾患の一次予防・二次予防について考える	第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	2023	07/16	神奈川県
田中俊江		CV risk management in older patients : never too late to initiate prevention	第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	2023	07/16	神奈川県
田中俊江		急性心筋梗塞患者において呼吸終末酸素濃度に影響を及ぼす骨格筋指標の検討	第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	2023	07/16	神奈川県
田中俊江	田中雄大 酒見拓矢 本田修浩 塩見哲也 船越祐子 臼井 真	Primary and secondary prevention of cardiovascular disease in the very elderly	第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会	2023	8/4-8/6	福岡県
萩尾智子	田中俊江 船越祐子 塩見哲也	若年発症の急性心筋梗塞における二次予防	第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会	2023	8/4-8/6	福岡県
本田修浩		巨大血栓を伴った急性心筋梗塞の一例	Fukuoka Heart Failure meeting vol.19	2023	11/21	福岡県
田中雄大	船越祐子 酒見拓矢 本田修浩 田中俊江 塩見哲也 臼井 真 田中吏佐	腫瘍生検で診断しえた心内転移食道癌の1例	第343回日本内科学会九州地方会	2023	11/26	長崎県
金堂佑藏	田中雄大 塩見哲也 酒見拓矢 本田修浩 田中俊江 船越祐子 臼井 真	心窩部痛で発症した心膜外脂肪壊死 (epipericardial fat necrosis) の一例	第135回日本循環器学会九州地方会	2023	12/02	福岡県

▶ 2023 年 論文掲載

著者名	共著者名	演 題	雑 誌 名	年	巻号	ページ
Honda,N.	Isayama,K. Kojima,K. Furukawa,S. Inanaga,K. Inoue,S.	Tall P-waves in inferior leads: A case of coexisting ectopic rhythm and atrial fibrillation arising from the superior vena cava	Pacing Clin Electrophysiol	2023	46(9)	1134-1140

(教育部長 臼井 真)